

## H28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	亀田東児童館			
管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	指定期間	平成28年4月1日	～ 平成33年3月31日
担当課	江南区役所健康福祉課			
所在地	新潟市江南区亀田水道町4丁目1番48号			
根拠法令	児童福祉法			
設置条例	新潟市児童館条例			
施設概要	敷地面積 1,588.91㎡ 建築面積 536.20㎡ 延床面積 526.85㎡ (児童館部分 411.24㎡, ひまわりクラブ部分 115.61㎡) 建物構造・主な施設内容 鉄骨造平屋建て 集会室 (33.94㎡) 創作活動室 (34.04㎡) 遊戯室 (196.00㎡) 図書室 (13.13㎡) 鑑賞室 (12.00㎡) 相談室 (6.11㎡) 事務室 (24.24㎡) ひまわりクラブ室 (115.61㎡)			

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として、亀田東児童館を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
亀田東児童館管理運営の基本方針  1 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とします。 2 子どもたちがいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、子ども達に健全な遊びや情報の提供を行います。  亀田東児童館の事業運営の5つの柱  1 健全な遊びを通じた児童の集団及び個別指導 2 中学生・高校生等の年長児童の自主的な活動に対する支援 3 母親クラブ、子ども会等の地域組織活動の育成助長及び指導者の養成 4 子育て中の親からの相談に応じるなどの子育て家庭への支援 5 地域の児童の健全育成に必要な活動

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	行事日より、ホームページ等による児童センター活動に関する情報発信 2回以上/月	・行事日より毎月1回発行 ・ホームページをリニューアルした ・ちらし、ポスター発行 ・区だよりに行事掲載	A	HPのリニューアルや、定期的な情報発信等により広報活動の充実に努めた。
	基準利用者数の達成	来館者数(年)(基準:60人×359日) 21,500人以上	年間30,588人の来館者数(1日85人)	A	昨年度より利用者数は減少したが、乳幼児親子の利用が増え基準を超えた。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施 2回以上/年	・年8回実施 (まつり、イベント、聞き取りなど)	A	利用者の声を聞き、業務の改善に活かした。
	苦情・要望に対する対応	原則1週間以内の回答	・苦情1件あり (早く適切に処理をした)	B	職員への指導を徹底し、業務改善に努めていただきたい。
財 務	管理運営経費の縮減	経費節減への取組み事項3件以上	・こまめな節電 ・裏紙の利用 ・工作の材料に空き箱を利用	B	普段から、全職員が経費節減に取り組んでいる。
業 務	設置目的の理解	・運営委員会の実施数 2回以上/年 ・地域交流事業の実施数 2回以上/年	・運営委員会6月、2月に実施 ・なつまつり、ふゆまつり、お正月お楽しみ会の実施	B	運営委員会において、活発な意見交換が行われた。地域住民の協力を得て、積極的に交流を図った。
	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期報告 一両日中	事故について当日、あるいは翌日に報告	B	今後も早期報告を徹底し、事態の把握と早期解決に努めていただきたい。
	安全安心の確保	・防災訓練実施回数 年2回以上 ・事故発生時のマニュアルによる研修実施 年2回以上	・6月と11月にひまわりクラブとの合同の避難訓練を実施 ・10月にひまわりクラブと合同で不審者対応 ・11月にひまわりクラブと合同で救命救急講習を実施 ・毎月、職員間でマニュアル研修実施、AED、消火器、避難経路の確認点検を実施	B	職員への周知徹底を図り、事故や災害への備えを十分に行い、避難確保計画を作成した。不審者対応についても研修を行った。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修の実施 年1回以上	・毎月職員間で個人情報保護について確認 ・内部研修1回実施	B	全職員に徹底が図られた。
	業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した	B	業務仕様書を確認しながら、業務を行うことができた。
人 材	配置人員条件の充足	業務仕様書に定める基準を満たしている	常勤3人、非常勤3人(欠員は無かった)	B	所定の人員配置を満たしていた。
	配置人員の資質向上	実務研修 1人年2回以上受講	研修参加 計9回 ・1人年3回以上研修を受講	B	積極的に研修に参加し、人材育成に努めた。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

今年度の大きな特徴は「ひよこ広場」や「育児イベント」を通して、幼児さんと保護者(特にお父さん)の利用者数が大幅に増加する事が出来た。  
 移動児童館の依頼数も毎年増加している傾向にある。地域の保育園をはじめ、多くの区内の小学校行事やひまわりクラブとの繋がりを深め、児童館の存在意義をPRする事ができた。  
 「まつり」や「お楽しみ会」、「音楽会」などを通じて、参加者の大幅な増加がみられ地域事業拡大の大きな前進の1年となった。  
 「亀田東ひまわりクラブ」と危機管理研修や大きなイベントへの参加、子ども達の情報共有などを通して、連携を深める事が出来た1年だった。  
 「おたより」や「ホームページ」を利用者により見やすく、興味を持ってもらえるように工夫して、あらたにリニューアルする事が出来た。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

併設のひまわりクラブの利用者が減ることにより、児童館の小学生利用者が減少したが、乳幼児親子の利用者が増え、全体の利用者数は目減りすることはなかった。乳幼児親子も利用しやすい施設となっていることが伺えます。今後もあらゆる年代の利用者に利用してもらえるような様々な活動、雰囲気作りに努めてもらいたい。  
 また、小学校との連携や地域の方々との交流を増やし、これまで以上に地域児童の健全育成の拠点施設となれるよう期待します。